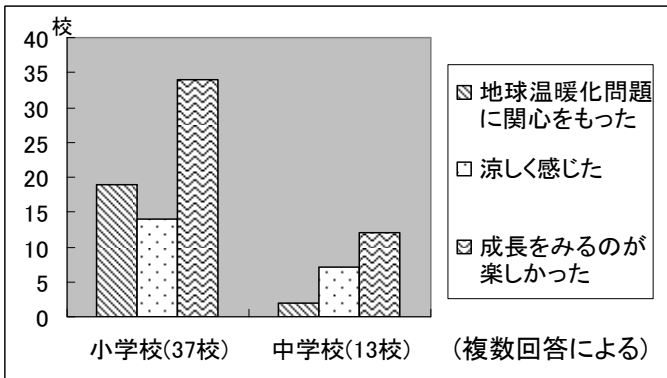


環境かわら版

ごみゼロ
いちのみや530作戦実施中

No. 32 (2010年2月1日 発行)

〈活動に取り組んだ児童・生徒の意見・感想等〉



緑のカーテン

市内小・中学校から保育園・公共施設へ

平成18年度、市内2つの小学校から始まった「緑のカーテン」作りは、今年度も市内の小・中学校50校で取り组まれました。毎年、この活動に取り組んだ学校の児童・生徒、そして担当の先生にアンケートを実施しています。

アンケートの結果から、「地球温暖化問題に関心をもった」「成長が楽しみ」などの意見・感想等が多くあり、「緑のカーテン」作りが、理科や生活科、総合的な学習など授業の中でも活用され、市内小・中学校の環境活動として定着してきたことがわかります。

「緑のカーテン」 「いっしょに育ちましょー!」

この「緑のカーテン」作りは、地球温暖化防止のための体験学習として広く活用されていますが、市では、今年度よりさらに一歩進めて、緑のカーテンの効果を実証するための「環境学習」の取り組みを小学校で始めました。(裏面参照)



北方東保育園の「緑のカーテン」

平成21年度からは 保育園でも実施

市では今年度から、愛知県「あいち森と緑づくり税」からの交付金を受け、5つの市立保育園でも「緑のカーテン」作りの取り組みを始めました。

さらに今後は、市内の他の保育園や公共施設へも、この取り組みを広げていく予定です。

省エネ効果で家計にも優しい「緑のカーテン」作りを、ご家庭でもぜひ取り組んでみてください。

〈回 覧〉

* 裏面もお読みください。

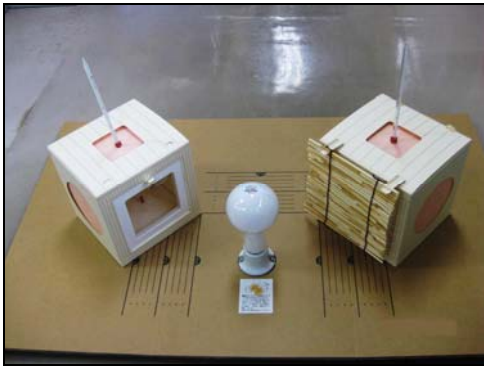
〈子どもと環境〉シリーズ

理科実験で環境学習

市内小学校2校で

昨年10月に小信中島小学校の3年生。11・12月には、木曾川東小学校の5年生で、「緑のカーテンモデル実験」が行われ、参加した児童は両校で136名でした。

実験は地球温暖化と防止についての説明の後、白熱電球を使いスダレ状の遮へい物の有無で、光と熱の量に違いがでることから、緑のカーテン効果を体験しました。



白熱電球を使った住まいの実験器具



緑のカーテンの効果実験(小信中島小)

ちの環境学習につなげたいものです。

【いま話題のLED】

白熱灯から蛍光灯、そしてLED(発光ダイオード)と、省エネによる二酸化炭素排出量削減や、省資源効果が一段と進化しています。

〈特長〉

- 省エネ (消費電力の削減)
- 長寿命 (長い点灯時間)
- 省資源 (リサイクル可能)

各分科会の活動状況

市民手づくりの一宮市環境基本計画を平成16年4月より実施しています。現在、一宮市環境基本計画が実効性のある計画になるように、**環境基本計画推進協議会**に3つの分科会を設置し、計画の推進・進行管理をしています。

● 「計画推進分科会」

「緑のカーテン事業」など市民や事業者が具体的に行動できる方策を協議しています。

● 「進行管理分科会」

市から報告された環境基本計画の進行状況に対して、点検、是正、見直しなどについて協議し、進行の管理を行っています。

● 「広報分科会」

”環境かわら版“を年4回発行し、推進協議会の活動を市民に紹介しています。



手回し発電機の実験(木曾川東小)

もう一つは、手回し発電機の操作で、白熱豆電球とLED(発光ダイオード)を点灯させて、LEDの消費電力の少なから、省エネ・省資源や、環境へのやさしさなどを体験するものでした。

今回の理科実験による環境学習の成果を、今後の子どもた